

江戸時代

江戸時代

江井島のできごと

日本のできごと

《江戸時代》

1723年(享保8)

西嶋村と東嶋村の境界争い

享保8年(1723)に西嶋村(当時は西嶋村)と東嶋村(同東嶋村)両村の間を流れる赤根川の河口にある市場屋敷の地での間に境界争いが起こった。

東嶋村は市場屋敷の地が東島の所属としたが西嶋村は①市場屋敷は西嶋村の庄屋清兵衛の祖先の居宅であったこと②その屋敷内に「市場の松」と呼ばれる古い松があり魚住庄の庄内掘割の水盛の時に目標にしたと伝えられていること③同地の海中にある馬石が両村の境界になっていることを申し立てて東嶋村の理不尽さを訴えた。

現在の赤根川から東へ約20mに丸江水産と滝本商店の1m程度の隙間に「従是西嶋村支配地(これよりにしじまむらしはいち)」の文字を肉太に深く彫り込んだ花崗岩の標石がある。



北側境界石標



南側境界石標

1733年(享保18)

卜部清兵衛が極楽寺を再建

1781年(天明元)

柳井住吉神社建立



すみよしじんじや やない 〈住吉神社(柳井)〉

天明元年(1781)に建立。

祭神は底筒男命(そこつつのおのみこと)、中筒男命(なかつつのおのみこと)、表筒男命(うわつつのおのみこと)。海上守護と開運の神。

1784年(天明4)

中尾住吉神社に「神馬・白馬絵」円山応挙作、画料7両で市場屋庄助が依頼し奉納した

1800年(寛政12)

寛政池(神戸市西区秋田)を築く

1805年(文化2)

伊能忠敬が極楽寺に宿泊



〈極楽寺〉

高野山真言宗で七宝山が山号。本尊は大日如来。

日本地図作成のため伊能忠敬が第5次測量に近畿・中国地方の地図作成で文化2年(1805)10月11日にこの地の測量を終え宿泊したのがこの極楽寺であった。

1811年(文化8)

蛭子神社・西嶋天満宮鳥居の建立

鳥居の建立年が蛭子神社、西嶋天満宮がどちらも文化8年(1811)、八幡神社が文化11年(1814)とほぼ同時期に建立されている。

蛭子神社は豊漁や商売繁盛を願い、八幡神社は厄除けを願い、西嶋天満宮は農耕の神、学問の神として信仰を集めていることは、当時の人々の願いが上手くからみ合っているからだろう。



1814年(文化11)

八幡神社鳥居の建立

〈八幡神社〉

八幡神を祀ってある。

建立は、如法寺と同時期の大治年中(1226~31)と考えられる。

八幡宮は総本社の宇佐神宮が最初。清和天皇(850~880)が石清水八幡宮に分霊し、源氏の氏神として尊崇され、源頼朝が鶴岡八幡宮に分祀後、全国に広まった。



1787年(天明7)

●松平定信の寛政の改革